

令和 4 年度  
第 12 回 地方独立行政法人 那覇市立病院 治験審査委員会 議事要旨

|       |  |
|-------|--|
| 開催日時  | 令和 5 年 3 月 9 日 (木) 18:00~19:30   |
| 開催場所  | 講堂   |
| 出席委員名 | 委員長；新垣 均（副院長）<br>副委員長；金城 雄一（薬剤部長）<br>委員；徳永 考史（小児科医長）<br>西澤 万貴（消化器内科医長）<br>東恩納 貴子（がん専門看護師）<br>石垣 宏枝（主任臨床検査技師）<br>宇地原 靖（事務局長）<br>津波 美和子（財務課 主任主事）<br>玉城 辰彦（ていだ法律事務所）<br>新城 和範（一）<br>儀間 ひろみ（一）<br>仲宗根 三枝（一） |

【議題及び審議結果を含む主な議論の概要】

|      |   |
|------|---|
| 審議事項 | <p><b>議題① ノボ ノルディスクファーマ株式会社の依頼による過体重又は肥満被験者を対象とした NN9535 の第Ⅲ相心血管系アウトカム試験（継続審査）</b><br/>         新たに得られた安全性情報について、提出された資料に基づき、治験継続の妥当性について審議した。<br/>         審議結果：承認</p> <p><b>議題② バイエル薬品株式会社の依頼による左室駆出率 40%以上の心不全患者（NYHA 心機能分類Ⅱ～Ⅳ度）における罹患率及び死亡率に関して、finerenone の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験（継続審査）</b><br/>         新たに得られた安全性情報について、提出された資料に基づき、治験継続の妥当性について審議した。<br/>         審議結果：承認</p> <p><b>議題③ 「ZEUS—動脈硬化性心血管疾患、慢性腎臓病、全身性炎症を有する患者を対象とした、心血管アウトカムに対するプラセボと比較した ziltivekimab の効果」（継続審査）</b><br/>         新たに得られた安全性情報および治験に関する変更について、提出された資料に基づき、治験継続の妥当性について審議した。<br/>         審議結果：承認</p> <p><b>議題④ 科研製薬株式会社の依頼によるアタマジラミ症患者を対象とした KAR の検証的試験（第Ⅲ相）（継続審査）</b><br/>         ◆院外審査依頼施設：<br/>             医療法人明清会 美里ヒフ科</p> |
|------|---|

令和4年度  
第12回 地方独立行政法人 那覇市立病院 治験審査委員会 議事要旨

|      |  |
|------|--|
|      | <p>いくみ皮ふ科クリニック<br/>なかぐすく皮フ科クリニック<br/>医療法人がんにゅう 安謝ファミリークリニック</p> <p>新たに得られた安全性情報について、提出された資料に基づき、治験継続の妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑤「脳卒中リスクのある18歳以上の心房細動の患者を対象に、脳卒中又は全身性塞栓症の発症抑制に関する、経口FXIIa阻害薬 asundexian (BAY2433334)の有効性及び安全性をアピキサバンと比較する多施設共同、無作為化、実薬対照、二重盲検、ダブルダミー、二群間並行群間比較、第Ⅲ相国際共同試験」(継続審査)</p> <p>新たに得られた安全性情報および治験に関する変更について、提出された資料に基づき、治験継続の妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑥ 急性心筋梗塞患者を対象としたエンパグリフロジンの第Ⅲ相試験 (継続審査)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新たに得られた安全性情報について、提出された資料に基づき、治験継続の妥当性について審議した。</li><li>・当院の治験期間延長について、その妥当性について審議した。</li></ul> <p>審議結果：承認</p> |
| 報告事項 | <p>議題① バイエル薬品株式会社の依頼による左室駆出率40%以上の心不全患者(NYHA心機能分類Ⅱ～Ⅳ度)における罹患率及び死亡率に関して、finerenoneの有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験</p> <p>治験終了について報告した。</p>  |
| 特記事項 | —  |